

令和2年度 糖尿病性腎症重症化予防と医療連携に関するアンケート結果

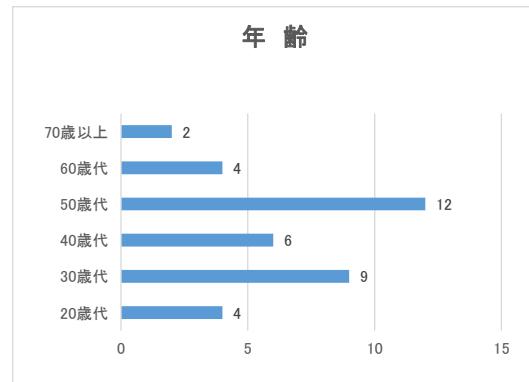
- 【アンケート目的】 実臨床レベルでの現状と本会議で策定したマニュアルの活用度を調査し、次の取り組みに繋げるため。
- 【アンケート対象】 茅ヶ崎医師会会員のうち、内科、外科、一部の産婦人科医 127名
- 【回答期限等】 令和2年4月27日に回答者が分からぬ形でアンケート依頼し、6月30日を回答期限とした。
- 【回答率】 37件回答あり。回収率は29.1%となる。
- 【回答があった診療科】 回答があつた方の内、診療科が「内科のみ」が33件、「外科のみ」が1件、「内科と外科」が1件、「内科とその他」が2件となり、「内科」と「外科・その他」で区分すると3件が重複する。

第一部

1 回答者の年齢

50歳代が32.4%と最も多く、次いで30歳代が24.3%、40歳代が16.2%となる。

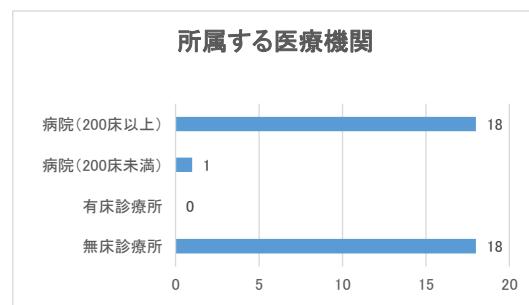
年代	実人数	割合(%)	内科	外科・その他
20歳代	4	10.8	4	0
30歳代	9	24.3	9	0
40歳代	6	16.2	6	1
50歳代	12	32.4	11	2
60歳代	4	10.8	4	0
70歳以上	2	5.4	2	1
計	37	100.0	36	4



2 所属する医療機関

無床診療所が48.6%、病院(200床以上)が48.6%を占める。

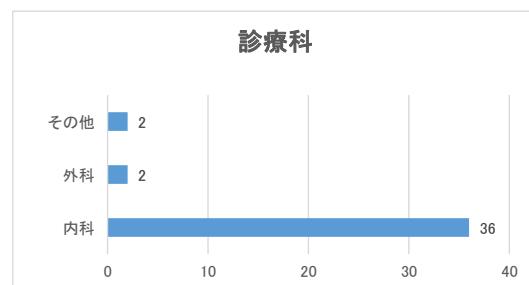
施設種別	実件数	割合(%)	内科	外科・その他
無床診療所	18	48.6	17	4
有床診療所	0	0.0	0	0
病院(200床未満)	1	2.7	1	0
病院(200床以上)	18	48.6	18	0
計	37	100.0	36	4



3 診療科

内科が90.0%、外科が5.0%、その他が5.0%となる。診療科が「内科のみ」が33件、「外科のみ」が1件、「内科と外科」が1件、「内科とその他」が2件となり、3件重複する。

科別	実件数	割合(%)
内科	36	90.0
外科	2	5.0
その他	2	5.0
計	40	100.0



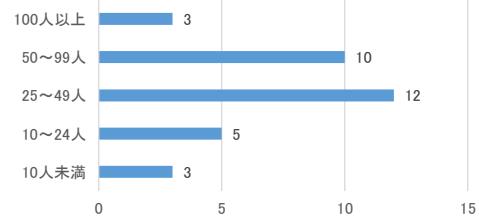
第二部

1 外来で診療するおよそのCKD(慢性腎臓病)患者は1か月あたり

25～49人／月が36.4%と最も多く、次いで50～99人／月が30.3%となる。未回答が4件あつた。

患者数／月	実件数	割合(%)	内科	外科・その他
10人未満	3	9.1	2	1
10～24人	5	15.2	5	2
25～49人	12	36.4	12	0
50～99人	10	30.3	10	0
100人以上	3	9.1	3	0
計	33	100.0	32	3
未回答	4		4	1

外来診療するおよそのCKD患者は1か月あたり

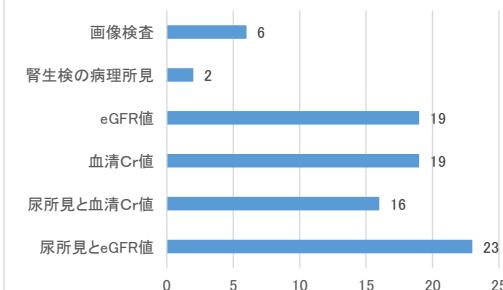


2 CKD(慢性腎臓病)はどのように診断していますか(複数回答可)

「尿所見とeGFR値」が63.9%、「血清Cr値」と「eGFR値」が52.8%、「尿所見と血清Cr値」が44.4%となる。

患者数／月	実件数	割合(%)	内科	外科・その他
尿所見とeGFR値	23	63.9	22	2
尿所見と血清Cr値	16	44.4	16	2
血清Cr値	19	52.8	18	3
eGFR値	19	52.8	18	3
腎生検の病理所見	2	5.6	2	0
画像検査	6	16.7	6	0
尿所見のみ	2	5.6	2	0
回答実人数	36		35	3
未回答	1		1	1

CKDはどのように診断しているか(複数回答可)



3 診察時の検尿は(複数回答可)

「高血圧や糖尿病患者には行う」が72.2%、「CKD患者には行う」が63.9%、「行わない」が11.1%となる。

なお、内訳で「高血圧や糖尿病患者には行う」と「CKD患者には行う」の両方検尿するのは17件で、

「CKD患者には行う」のみが6件、「高血圧や糖尿病患者には行う」のみが9件となる。

検尿状況	実件数	割合(%)	内科	外科・その他
CKD患者には行う	23	63.9	22	2
高血圧や糖尿病患者には行う	26	72.2	25	2
行わない	4	11.1	4	0
回答実人数	36		35	3
未回答	1		1	1

診察時の検尿(複数回答可)

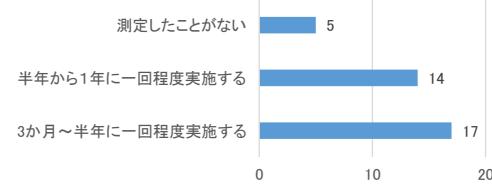


4 糖尿病早期腎症が疑われる患者に対する尿中アルブミン測定は

「半年から1年に1回程度実施する」が38.9%、「3か月～半年に1回程度実施する」が47.2%、「測定したことがない」が13.9%となる。

尿中アルブミン測定	実件数	割合(%)	内科	外科・その他
3か月～半年に1回程度実施する	17	47.2	16	2
半年から1年に1回程度実施する	14	38.9	14	1
測定したことがない	5	13.9	5	0
計	36	100.0	35	3
未回答	1		1	1

糖尿病早期腎症が疑われる患者への
尿中アルブミン測定

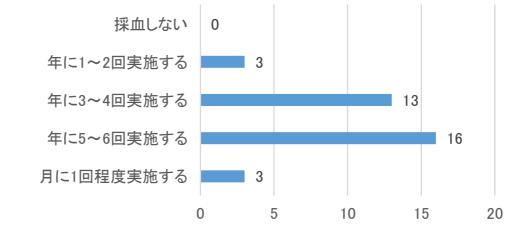


5 CKD(慢性腎臓病)患者に対する採血検査(血清Cr、電解質、血算など)

「年に3～4回実施する」が57.9%、「年に5～6回実施する」と「年に1～2回実施する」は各15.8%となる。

採血検査	実件数	割合(%)	内科	外科・その他
月に1回程度実施する	3	8.6	3	1
年に5～6回実施する	16	45.7	16	0
年に3～4回実施する	13	37.1	12	1
年に1～2回実施する	3	8.6	3	1
採血しない	0	0.0	0	0
計	35	100.0	34	3
未回答	2		2	1

CKD患者に対する採血検査

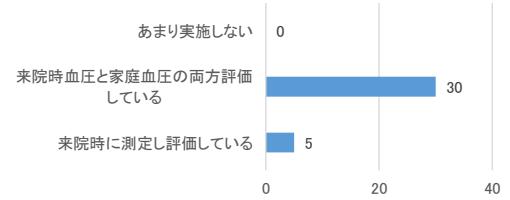


6 CKD(慢性腎臓病)患者の血圧測定について

「来院時血圧と家庭血圧の両方評価している」は85.7%、「来院時に測定し評価している」は14.3%、「あまり実施しない」は0.0%となる。

血圧測定	実件数	割合(%)	内科	外科・その他
来院時に測定し評価している	5	14.3	5	0
来院時血圧と家庭血圧の両方評価している	30	85.7	29	3
あまり実施しない	0	0.0	0	0
計	35	100.0	34	3
未回答	2		2	1

CKD患者の血圧測定について

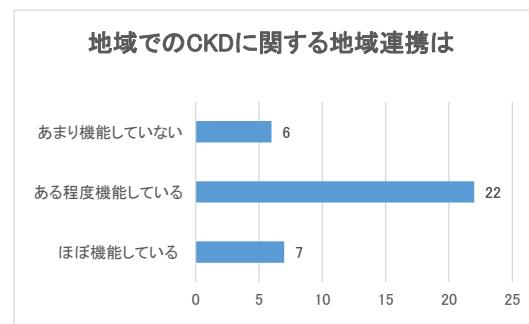


第三部 CKD(慢性腎臓病)診療における地域連携、病診連携について

1 地域でのCKDに関する地域連携は

「ある程度機能している」は62.9%、「ほぼ機能している」は20.0%、「あまり機能していない」は17.1%となる。

地域連携	実件数	割合(%)	内科	外科・その他
ほぼ機能している	7	20.0	6	2
ある程度機能している	22	62.9	22	0
あまり機能していない	6	17.1	6	1
計	35	100.0	34	3
未回答	2		2	1



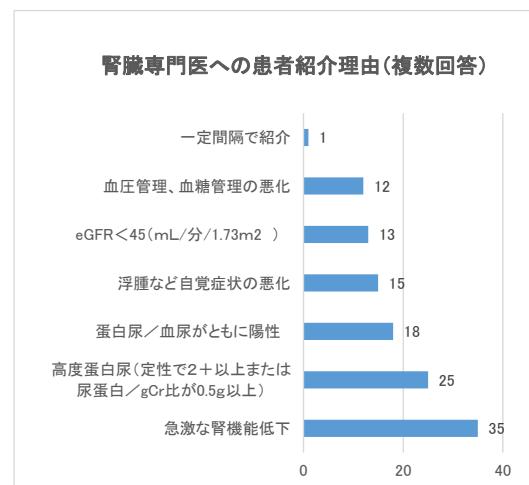
2 腎臓専門医への患者紹介の理由は(複数回答可)

「急激な腎機能低下」は100.0%、「高度蛋白尿」は71.4%、「蛋白尿／血尿とともに陽性」は51.4%、

「浮腫など自覚症状の悪化」は42.9%、「eGFR<45」は37.1%、「血圧管理、血糖管理の悪化」は34.3%、

「一定間隔の紹介」は2.9%となる。

地域連携	実件数	割合(%)	内科	外科・その他
急激な腎機能低下	35	100.0	34	3
高度蛋白尿(定性で2+以上または尿蛋白／gCr比が0.5g以上)	25	71.4	24	3
蛋白尿／血尿とともに陽性	18	51.4	18	1
浮腫など自覚症状の悪化	15	42.9	14	3
eGFR<45(mL/分/1.73m ²)	13	37.1	13	0
血圧管理、血糖管理の悪化	12	34.3	12	1
一定間隔で紹介	1	2.9	1	0
回答実人数	35		34	3
未回答	2		2	1



3 「CKD診療ガイドライン2018」に掲載されている「かかりつけ医から腎臓専門医・専門医療機関への紹介基準」(別表)について

「ときには活用している」は41.7%、「知っているがあまり参考にしていない」は22.2%、「自院で対応している」は16.7%、

「各症例の検査結果と照らし合わせて活用している」は13.9%、「知らない」は5.6%となる。

状況	実件数	割合(%)	内科	外科・その他
各症例の検査結果と照らし合わせて活用している	5	13.9	5	1
ときには活用している	15	41.7	14	1
知っているがあまり参考にしていない	8	22.2	8	0
自院で対応している	6	16.7	6	1
知らない	2	5.6	2	0
計	36	100.0	35	3
未回答	1		1	1



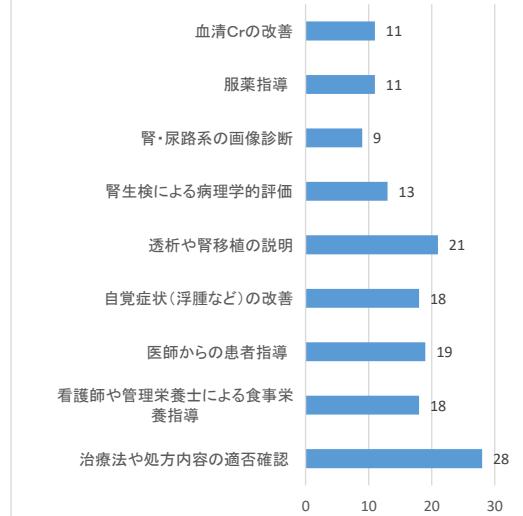
4 かかりつけ医として腎臓専門医に期待することは(複数回答可)

「治療法や処方内容の適否確認」は84.8%、「透析や腎移植の説明」は63.6%、「医師からの患者指導」は57.6%、

「看護師や管理栄養士による食事栄養指導」と「自覚症状の改善」は54.5%となる。

	実件数	割合(%)	内科	外科・その他
治療法や処方内容の適否確認	28	84.8	27	3
看護師や管理栄養士による食事栄養指導	18	54.5	17	3
医師からの患者指導	19	57.6	18	3
自覚症状(浮腫など)の改善	18	54.5	18	2
透析や腎移植の説明	21	63.6	21	1
腎生検による病理学的評価	13	39.4	13	1
腎・尿路系の画像診断	9	27.3	9	1
服薬指導	11	33.3	11	2
血清Crの改善	11	33.3	11	1
回答実人数	33		32	3
未回答	4		4	1

かかりつけ医として腎臓専門医に期待することは(複数回答可)

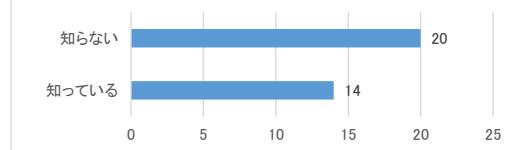


5 国及び神奈川県で策定された糖尿病性腎症重症化予防プログラム(※)についてご存じですか？

「知らない」は58.8%、「知っている」は41.2%となる。

	実件数	割合(%)	内科	外科・その他
知っている	14	41.2	14	2
知らない	20	58.8	19	2
計	34	100.0	33	4
未回答	3		3	0

国及び神奈川県で策定された糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて



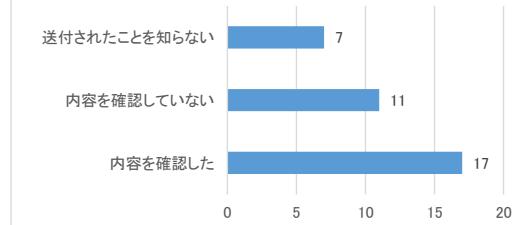
第四部 茅ヶ崎市糖尿病クリティカルパス推進会議について

1 本会議で発行した「糖尿病重症化予防」(令和元年9月作成) の内容確認について

「内容を確認した」は48.6%、「内容を確認していない」は31.4%、「送付されたことを知らない」は20.0%となる。

	実件数	割合(%)	内科	外科・その他
内容を確認した	17	48.6	16	3
内容を確認していない	11	31.4	11	1
送付されたことを知らない	7	20.0	7	0
計	35	100.0	34	4
未回答	2		2	0

本会議で発行した「糖尿病重症化予防」の内容確認について

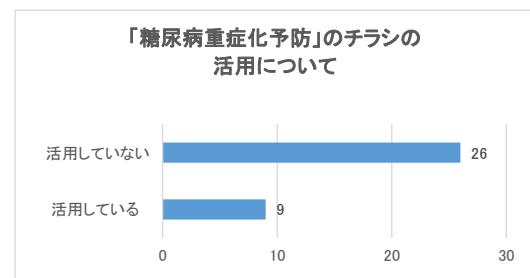


2 「糖尿病重症化予防」のチラシの活用について

「活用していない」は74.3%、「活用している」は25.7%となる。

なお、「外科・その他」4件中は、3件が「活用している」おり、1件が「活用していない」であり、内科のみと比較すると「活用している」が多い。

	実件数	割合(%)	内科	外科・その他
活用している	9	25.7	8	3
活用していない	26	74.3	26	1
計	35	100.0	34	4
未回答	2		2	0



3 茅ヶ崎市糖尿病クリティカルパス推進会議に期待すること(自由記載)

※1件のみ記載あり。

・腎臓専門医に紹介するタイミングを指導してほしい。